

中部横断道猛禽類保全検討委員会
(令和4年度)
議事概要

1. 日時：令和4年12月9日（金）14：00～16：00

2. 場所：恩賜林記念館 大会議室

3. 出席者

【委員長】阿部 學 NPO法人日本猛禽類研究機構 理事長

【委員】柳澤紀夫 （公財）山階鳥類研究所 評議員

青木 進 山梨県猛禽類研究会 会長

【オブザーバー】岩井 慶慎 山梨県 環境エネルギー部 自然共生推進課 主事

【事業者】国土交通省 甲府河川国道事務所

山梨県 県土整備部 高速道路推進課

4. 議事

(1) 第25回中部横断道猛禽類保全検討委員会 議事録要旨

(2) 令和4年繁殖期の繁殖状況及び猛禽類への関連工事影響の検討

(3) 開通後の影響評価

(4) 委員会総括

(5) 報告書（案）の内容説明

5. 結果

- ・第25回中部横断道猛禽類保全検討委員会の議事録の内容について了承された。
- ・令和4年繁殖期の繁殖状況を報告し、令和4年の関連工事における猛禽類への工事影響は確認されていないことについて了承された。
- ・開通後の影響評価の項目・手順・検討内容を報告し、開通後の事業影響は確認されていないことについて了承された。
- ・第25回までの委員会の内容の総括を報告し、委員会を結審することについて了承された。

(主な意見)

- ・関連工事内容に対して適切な配慮事項が行われていると考えられる。
- ・全線開通して1年が経過したが、事業影響は生じていないと考えられる。
- ・これまで長期間にわたって調査、環境保全措置に取り組んできた事業者の姿勢は高く評価できる。今回を持って委員会を結審するということで了解した。
- ・たくさんの貴重なデータがあるため、可能な限り他事業への利活用を図っていただきたい。
- ・GPS装着個体がまだ発信中であるため、可能な限り継続していただきたいと思う。